

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和5年度第1回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	令和5年6月28日（水） 13時30分～15時00分
3 開 催 場 所	宝塚市役所 特別会議室
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■木下委員 □田中委員 ■林委員 ■石井委員 ■大西委員 ■温井委員 ■阜月委員 ■西本委員 ■種村委員 ■寺澤委員 ■湯浅委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議題及び結果の概要	◆議題 （1）副議長選出 （2）令和5年度宝塚市社会教育委員の会議 研究テーマについて ◆報告 （1）令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会について （2）令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会総会及び研修会について （3）兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会について

令和5年度第1回宝塚市社会教育委員の会議 議事要旨

1 議題

(1) 副議長選出

大西委員に決定

(2) 令和5年度宝塚市社会教育委員の会議研究テーマについて

(事務局)

今年度は実際に社会教育に係る事業を企画、実施することで進めていましたが、宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証についても協議いただきたいと考えています。平成28年度より休所していました宝塚自然の家は、令和4年度より新たな指定管理者により、再開しました。今期の指定管理期間は、3年のため、令和6年度に次期指定管理者を選定し、令和7年度より次期指定管理者が運営することとなります。

宝塚自然の家次期指定管理者の選定に当たり、意見書を作成いただければと思い、提案させていただきます。

また、本施設は老朽化してきており、在り方を考えていく時期にきています。意見書だけでなく、今後継続して協議していきたいと考えています。

なお、事業企画についても来年度は市政70周年となりますので、並行して議論を進めていただきます。今年度は、テーマを2本立てで議論していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(議長)

まず宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証について協議を進めます。

事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料を基に宝塚自然の家の概要を説明】

現在宿泊施設としては、グランピングやソロキャンプなどレジャー化が進んでいます。改めて、社会教育施設としてどのように活用したら良いかという意見を伺います。

(委員)

開所した頃にしていたことを現在できていないことが、残念に思います。基本の考え方に戻り、できる人が集まって受け入れ態勢を整えることはどうでしょうか。いきなり宿泊をするのは難しいと思うので、以前の良いところを別の形で復活することができたら良いなと感じました。

(副議長)

私は中学生、高校生が企画するキャンプの引率をしています。キャンプ場を探すことが難しいです。オートキャンプやグランピング、ソロキャンプなど、キャンプをする場所は増えていますが、費用が高額であるなど、希望に沿うキャンプ場は少ないです。せっかく宝塚市に施設があるので、宿泊できたらという希望はありますが、費用的に難しいこともあると思います。まずはテント泊体験など小さなことから始めてみてはどうかと思います。また、自分たちだけではできないけれど、イベントがあるならやってみたくて自然体験を求めている人が増えていると感じています。イベントの体験を通して西谷地域を好きになり、もっと身近に感じられるきっかけづくりになるのではないかと思います。また、宝塚駅からバスが出ていないことに驚きました。そういったところもハードルが高いと感じます。コロナを経て自然体験の需要はこれから高まると思います。

(事務局)

以前は子どもたちだけで来る施設だったため、定期バスがありましたが、日帰り施設となってからは、車で来るが増えたため、廃線となりました。復活は難しいと思います。

(委員)

エフエム宝塚で月に1回、宝塚自然の家のレポートをしています。指定管理者が非常に頑張っている印象があります。子ども以外を対象としたイベントはありますか。大人向けのイベントがあれば良いと思います。

(事務局)

現在は薪割りなど自然体験型のイベントを行っています。以前はジャスフェスティバルなどを行っていました。また同じように実施するためには、電気設備を整える必要があります。また、宿泊をするためには消防法で認可を受ける必要など制約があります。

(委員)

これから子どもは減っていくので、子どもを対象としたイベントだけではこの先難しいと思います。たくさんの方が利用するようになったら、今抱えているいくつかの課題は予算化され改善されていくと思いますので、まずはたくさんの世代の集客ができるような仕掛けが必要だと思います。

(委員)

昨年度の宝塚自然の家の利用者数が約11,000人でしたが、どれくらいの支出があったのか、収支の報告が必要だと思います。また、次世代をつくっていく活動のためやめるべきではないと思います。

(事務局)

収支ですが、3年間で54,000千円、1年間で18,000千円を指定管理料として、指定管理者へ支払いしています。利用者については、直営時に定めた利用者人数の目標値を1万人と定めていたので、初年度から超えたという状況です。

(委員)

校外学習参加校の数値は小学校が対象ですか。現在23校あり、一番多い時で12校なので、学校への積極的な働きかけをしてはどうかと思いました。

(委員)

本市では、小学3年生を対象に環境体験事業を実施しています。近くの里山などを利用して環境体験を実施できる学校も中にはありますが、学校周辺ではできない場合も多くあり、その時は宝塚自然の家は有効に活用できるのではと感じました。ただし、バスを借り上げる必要があり、その費用が課題だと感じています。

なお、5年生の自然学校はもう少し遠方へ行きます。丹波少年自然の家が今年6月末で閉所となり、淡路や南但馬へ行くことが多いですが、費用も移動時間もかかります。西谷だと近いので移動時間を活動に充てることができます。

(議長)

例えば、本会議で宿泊施設を希望する意見書を作成すると予算がつくのでしょうか。

(事務局)

現在のコンセプトとしては、自然体験ができる日帰り施設となっています。指定管理者が大規模の子どもたちが受け入れられないか、宿泊体験ができる方法がないか研究しています。他の施設を見ますと、ソロキャンプやファミリーキャンプが増えています。場所貸しや薪を販売することで資金をうまく運用しているようです。宝塚自然の家で言いますと、大規模の宿泊施設としては難しいと考えています。

(委員)

毎年夏にはサマースクールを実施していますが、あまり費用をかけずに宿泊できる施設がありません。今年は三田市へ行く予定ですが、宝塚に住んでいるので、できれば市内で実施できればと思います。予算のことは考えずに希望を申し上げると、全面芝生のグラウンドがあれば、サッカーの合宿などができ、近くの高校生や大学生への需要は高いと思います。もう1つは吹奏楽部の練習できる場所です。楽器練習ができる場所はありませんが、宿泊を伴って練習できる場所はなかなかありません。コンクールや定期演奏前は需要が

あり学生たちも喜ぶと思いますし、市外からの利用者も増えると思います。現在の指定管理者も頑張っておられると思いますが、少し手を加えないと限界ではないかと感じました。

（委員）

宿泊施設という意見が出ていますが、新しく建築するに際しても、耐用年数が50年だとしたら、50年後に減っているのは子どもだけではないと思います。5年、10年先の全世代型の施設となれば予算は難しいと思います。ですので、市外の人でも使える、子どもを中心とした社会教育施設がどうあるべきかという議論と今この現状を打破できなくてもどう維持していくのかの2つの議論を一緒に進めないといけないと感じました。

プールの跡地や宿泊棟は使えないまま残っているのでしょうか。その土地がもっていないと思います。

（事務局）

除却工事行う予算要求を予定はしています。更地になれば、そこに新たな建物を建てるのは難しいと思いますが、広場として有効活用は可能です。

現在の指定管理者も管理運営する中で、宿泊希望の声を聞いていますが、施設的に難いため、まずはキャンプを計画中です。今年度中には実施予定です。指定管理者へは、本会議にて意見書を作成する旨は、説明済みです。また、本日いただいたご意見についても、指定管理者と共有します。

（委員）

小学生の体験学習で、宝塚歌劇場やゴミ焼却場を見学していますが、その延長上に宝塚自然の家にも訪れる学習プログラムがあれば良いなと思いました。あとは、昔の暮らし体験が学校のカリキュラムにあり、七輪体験をしていましたが、今は別のものを実施していると聞きました。タブレット学習が始まり、虫の画像を3Dで観察していると聞きました。タブレット学習のメリットだと思いますが、子どもたちが自然に触れるという視点からすると、せっかくの自然があるので、実際の虫を観察できれば良いなと感じます。虫が苦手な子が多いので、小さい頃から自然に触れるのは大切な経験だと思います。

（委員）

文化芸術センターができた頃に、小学4年生の社会見学で、手塚治虫記念館とセットで見学する事業がありました。同じように環境体験学習でも予算化できれば可能だと思いますが、借り上げ料も値上がりしており、大きな課題だと感じています。

（議長）

丸山湿原は宝塚自然の家のマップには掲載されていますか。

(事務局)

兵庫県指定の天然記念物となり、宝塚自然の家の敷地内にはありません。松尾湿原は宝塚市指定の天然記念物となり、敷地内にあります。

(議長)

それでは、多くの意見をいただいておりますが、時間となりましたので今後のスケジュールについて、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

たくさんのご意見をありがとうございました。次回は現地視察を行いたいと思います。指定管理者への意見や質問に応じていただく機会も設けたいと思います。

(議長)

それでは次に、事業企画について前回の会議内容を含め事務局より説明をお願いします。

(事務局)

前回、事業企画に係るご意見をいただきました。主な意見をホワイトボードに書き出し、その写真を資料としています。来年度は市政70周年となり、指定管理者や社会教育課も企画しています。本会議でも実施できればと考えておりますので、協議の程お願いいたします。

(副議長)

資料の3つのグループ（お困りごと、おまつり、郷土・自然）が別々に話し合い、最終は1つになるイメージでしょうか。

(事務局)

前回に委員の皆様には自由に意見を出していただき、それを事務局で集約する際に分かりやすいようグループ分けを行いました。

(委員)

市政70周年に向けて、本会議以外にどこがイベントの企画をしているのでしょうか。

(事務局)

庁内の様々な部署が企画しており、社会教育課の関係施設である、宝塚自然の家や公民館へもイベントの企画を依頼しています。

(委員)

本会議で企画するのも良いですが、他の会合などそれぞれで企画をすると同じような意見が出ると思いますので、意見を集約して1つの会合で企画するとスリム化を図れるのではないかと思います。

(事務局)

市政70周年の事業に関しては、庁内で集約する部署があります。10年に1度のイベントであるため、これまで社会教育課が培ってきた文化財や自然の家の豊かな自然を発信する機会だと認識しています。

(委員)

社会教育に携わる人たちが一堂に会する場というのが、前回出た意見のコンセプトだと思います。自分たちがやっている活動の紹介や悩みを共有できる場になると良いのだと思います。集まりやすいのがフェスという形だと思います。前回の阪神北地区社会教育委員の会議研修会で宝塚自然の家の発表を聞きましたが、知らなかった活動などを聞くと、行ってみたいと思いますので、まちづくり協議会やPTAや社会福祉協議会などの活動をしている人の話を聞いたり、展示ブースであったり、講演会など形は色々ありますが、集まれる企画になれば良いと思います。

(議長)

それでは、多くの意見をいただいておりますが、時間となりましたので最後に報告内容について事務局より説明お願いいたします。

2 報告事項

(1) 阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会について

日時 令和5年4月25日(火) 14時～

場所 伊丹市立総合教育センター2階 講座室

内容 令和5年度研究テーマについて

令和5年度総会について

(2) 阪神北地区社会教育委員協議会総会及び研修会について

日時 令和5年5月16日(火) 14時～

場所 伊丹市立生涯学習センター(ラストホール)2階 多目的ホール

内容 令和4年度事業報告について
令和4年度会計決算報告・監査報告について
令和5年度新役員の承認、監事の選出について
令和5年度年間研究テーマ（案）について
令和5年度事業計画（案）について
令和5年度予算（案）について
研修会 施設見学・健康講座

(3) 兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会について

日時 令和5年5月22日（月）13：30～

場所 兵庫県民会館 けんみんホール

内容 令和4年度事業・決算報告、会計監査報告
令和5年度役員選出、活動目標案について
令和5年度事業計画案・予算案について

研修会 演題 「予測困難な時代における社会教育の在り方」
講師 高野山大学教育学科主任兼特任教授
今西 幸蔵 氏

(議長)

それでは、以上をもちまして、本日の議事を終わらせていただきます。